公益社団法人霧島青年会議所　第六回次年度理事会　議事録

開 催 日：平成３０年１２月１２日（水）

開会時間：２０時００分

閉会時間：２２時００分　予定

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　盛田　啓仁　　君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　重野　隆太　　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　　　　　　板元　幸仁　　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　　　　鈴吉　美絵　　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　　　　木野田　幸平　　君
6. ２０１８年度スローガン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. ２０１８年度理事長挨拶
8. 理事長　前田　数馬　君

公務のため欠席。

1. ２０１９年度次年度理事長挨拶

２０１９度理事長　藏元　国明　君

いつもありがとうごいます。昨日の総会にて会員の皆様より審議を頂きました。あとは事業計画に基づいてしっかりと事業構築して頂けましたらと思います。話は変わりますが、忘年会シーズンとなりまして夜も遅くなり、睡眠が短くなることもあるかと思いますが、事故等ないように気をつけて頂けましたらと思います。今まで、次年度段階で大変な想いをしながら作って参りました。あとは1月1日に向けてしっかりと準備をして頂けましたらと思います。２０１８年度のなかでも準備不足という反省がありました。次年度段階にしっかり準備していないと同じようなことになってしまうので、経験豊富な副理事長が引っ張っていってもらえましたらと思います。本日は議案も少ないですが、しっかりと意見を交わし早く終わりたいと思いますのでご協力お願い致します。本日もよろしくお願い致します。

９．２０１９年度次年度顧問挨拶

顧問　竹下　圭一郎君

欠席のため割愛します。

１０． 議長選出

審議事項：２０１９年度理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　　前田大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：鈴吉副理事長、重野委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | ○ | 田上俊介 | × | 重野隆太 | 〇 |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | ○ | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | ○ | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中９名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | × | 竹下圭一郎 | × | 井上正樹 | ○ | 常盤大和 | ○ |

　　役員４名中、２名出席により定足数を充たしていることを確認した。

１３．議題並びに資料の確認

協議事項２件　　連絡・報告事項３件　となっております。

１４．議事録承認の件

木野田：確認させて頂き問題ないことを報告させて頂きます。

板元　：確認し、不備なきことをご報告させて頂きます。

１５．議題

協議事項１：２０１９年度１月通常総会計画書並びに予算（案）について

鈴吉　　：第２回目の上程となります。正副での意見で予算が０円となっております。と

　　　　ありましたが、今年度は事務局費対応とのことで変更しておりません。詳細は委

　　　　員長より説明致します。

重野　　：正副での意見は対応しております。また２０１８年度１２月総会のアンケート

　　　　を基に改めて対応を追加しようと考えております。会場については、１２月１７

日に視察予定としておりますので、お時間ある方がいましたらお願いしたく思い

ます。

前田(大)：各指摘の部分含めましてご意見ありましたらお願い致します。

板元　　：組織の目的を再確認とありますが、これを成すための手法は何なのか教えてく

　　　　ださい。

重野　　：理事長挨拶を通じて達成できると考えております。

板元　　：理事長挨拶のみという認識で良かったでしょうか？

重野　　：はい。おっしゃる通りです。

板元　　：先日頂いたＪＣシードの中に、セレモニーで方向性を確認するということも記載がありました。理事長挨拶だけでなくセレモニーの中でのできる工夫があるのではないかと思います。意見です。

重野　　：自分もＪＣシードの確認不足でありまして、事前に周知する等を考えていきた

　　　　いと思います。参考にさせて頂きます。

重野　　：補足漏れがありました。ハガキに関して、前回から大きく変更しております。

　　　　委員会での意見を反映しましてハガキに賛否を記載する欄を設けることで、総会

　　　　資料・議案を事前に確認することに繋がるのではと思っております。

前田(大)：総会資料は、委任状と一緒に郵送するのですか？

鈴吉　　：今回、日程が短いのでＨＰへのアップと事務局に配置と考えております。送付

　　　　は案内文と返信用ハガキでＳＮＳを使用して周知と考えております。

前田(大)：良い案と思うのですが、賛否を問うにあたり確認しているのか疑問に思います。

ハガキに記載するなどあっても良いかと思います。

重野　　：ありがとうごいます。はじめての取り組みの中で、補足説明は記載するようにします。例年、委任するだけで中身を把握できているのか疑問に思うところもありますので、少しでの目を通して頂きたいと思っております。

前田(大)：短い時間の中ですので、もう一度委員会で設えとしてやれることを検討頂けますとより良いものになるのかなと思います。

橋　　　：工夫と期待される効果　工夫１では総会資料在中とありますので修正をお願い

します。あと、昨年度まであった各委員会報告の時間も検討して頂けましたらと

思います。

重野　　：工夫１の修正、委員会報告は組み込みたいと考えております。

南郷　　：今回、議決権となっているのですが必着厳守と記載があるのですが、必着と厳

　　　　守は同意語だと思い強く感じてしまうため修正をお願い致します。

重野　　：修正して参ります。

常盤　　：議決権行使書については、おもしろい取り組みだと思いますが１号議案についてはどう記載するのか？など詳細まで、しっかり対応できる形で作って頂きたいと思いますので再度、協議して頂けましたらと思います。

重野　　：はい。抜けがないように細かく構築して参ります。

井上　　：前回のグループLINEに入っていない方は把握していますか？

重野　　：現在、村田くんが参加していないですが、わたしが責任をもってお伝えしたく

　　　　思っております。

木野田　：予算が０円なのですが、ハガキ代はかからないのですか？

重野　　：執行部での対応ですのでかかりません。

木野田　：把握不足でした。横の欄に執行部にて。や事務局費対応と記載頂けましたらと

　　　　思います。

常盤　　：工夫と効果のところに仲の良い会員から声をかけるとありますが、効果が出ているのかを含め、今年度の委員長が１２月総会の資料を作成しているところだと思います。２０１８年度の委員長から引継ぎを受けて検討してください。また、なかなか出てこない現状ではありますが、重野委員長のカラーといいますか新たな取り組みについても考えてみてもらえましたらと思います。

重野　　：アンケート結果を見たときに、仲の良い会員からの声掛けが効果的だという資

　　　　料がありましたので効果的かと思います。その他の取り組みについても再度、委

員会の方で検討したいと思います。

藏元　　：目的達成の手法について、ＪＣシードの意見もありましたが、ＪＣＩクリード

の和訳を記載して何を伝えようとしているのかを把握することで、霧島青年会議

所だけでなく、もっと大枠のＪＣの想いや方向性を理解することに繋がるのでは

ないかと思います。今年度の意見も大事ですが、もっとさかのぼったうえで、ど

の様な取り組みをしていたかを把握したうえで考えて頂けましたらと思います。

参加促進についても仲の良い会員がいないときはどうするのか？等ありますので、

その時々では効果がなかったが一周まわって効果が出るではないですが、以前実

施した取り組みを改めて実施しても良いかと思います。あと、計画書のなかで、「リ

ストを共有し」は何のリストなのか？工夫４の「再度周知し」とありますが、Ｊ

Ｃグループだけで良いのか？もっと方法はあると思います、大事なところなので

厚みを持たせてもらえましたらと思います。それと、実施スケジュールのところ

で案内文の発送となっていますが、どうやって発送するのですか？

重野　　：事務局でと思っておりました。

鈴吉　　：修正します。

藏元　　：再度、運営側と話してもらえましたらと思います。7日に臨時理事会で決議され

る中で、少しでも総会資料を見てもらう時間を延ばすために出来た時点で発信で

きるように運営側と協議してください。

鈴吉　　：新春懇談会もありますので１０日にしておりました。

藏元　　：９日でなくても１０日でも大丈夫なのですが、実施までのスケジュールで８日に臨時理事会にて審議可決９日に専務確認をしたうえで、なぜ１０日発送なのか？９日にあげられるのではないのか？少しでも努力をして欲しいという意味です。

鈴吉　　：承知いたしました。

前田(大)：以上で、２０１９年度１月通常総会計画書並びに予算（案）について閉じさせて頂きます。

板元　　：休憩動議

　　　　橋・重野　　セコンド

　　　　２０：４５休憩となる。

協議事項２：２０１９年度３月例会計画書並びに予算（案）について

木野田　：お疲れ様です。１回目になります。正副にて背景目的・手法と意見頂き対応しております。詳細は委員長より説明させて頂きます。

板元　　：前回、正副時に拡大を意識しすぎてボーリング例会を出させて頂いたのですが、背景から大きく変更させて頂き、副理事長の基本方針並びに自分の事業計画をしっかり見直してくださいとの意見を頂き再度読み直した時に会員の意識を変革とありましたので、ＪＣシードと時間の使い方、ＪＣの生い立ちという内容に変更させて頂きました。お目通し頂きご意見頂けましたらと思います。

前田(大)：背景・目的からご意見なかったでしょうか？

重野　　：背景に「自信をもって発信できる会員が少ないのが現状です」とありますが、これは調査済でしょうか？

板元　　：根拠はなくて主観になるのですが、存在意義はこれです！と言い切れる会員はいないと考えていたのですが根拠立てて作れるようにしたいと思います。

南郷　　：予算についてですが、会場と冷暖房があるのですが見積もりを見る限り、机のお金はいらないという了承は得ているのでしょうか？

板元　　：下見と打ち合わせを行う中では、会場代と冷暖房代だけですと伺っております。

鈴吉　　：背景に関して先ほどの意見と重複するのですが、存在意義や目的について委員長の中で答えはもっていますか？

板元　　：青年会議所の存在意義については、４０歳までの青年がまちづくりに関して必要な政治・経済を学び地域のニーズにあった活動運動を展開できることが、ＪＣの存在意義かなと思っております。

鈴吉　　：人それぞれ考え方はあると思うのですが、存在意義について答えは一つではないと思います。先ほど、調査をするとのことだったのですが、どの様に調査するのかを副理事長に確認したうえで、行って頂けましたらと思います。

重野　　：対内の事業目的が背景にリンクしていないかと思います。存在意義を確認しただけで地域を変える人財になれるのか？疑問に思います。

板元　　：イメージとして理解して会員がどうなるという想いを込めて記載しておりましたが、改めて考えたいと思います。

橋　　　：「存在意義を理解し」の表現を考えてください。

板元　　：先ほどの意見も合わせて再度検討します。

井上　　：色々意見が出たところであるので、意見をまとめて作るとは思うのですが、地域を変える人財ってどんな人なのかイメージして定義をもってもらえましたらと思います。その中で、来年度が率先垂範というスローガンで行くので、そこを意識して考えればいいのかなと思います。あと、存在意義を理解してもらいたいと考えるなかでＪＣシードを使用する理由を教えてください。

板元　　：自分も見てみたのですが、新入会員向けに作られているのですが、セレモニーや青年会議所がなぜ設立されたのかについてナレーション付きで解説されているので活用出来たらと思い手法として用いております。

井上　　：参考のなかにＪＣシードのデータは入っていますか？

板元　　：データはなく現物しかありません。

井上　　：時間の使い方とのリンクを確認したいと思うので理事役員に見てもらえると良いと思います。

常盤　　：案内文の季語が間違っていると思いますし、タイミングはここで良いのかなどスケジュールの確認をしてください。また、ポロシャツとなっておりますが寒くないのか？確認をしてください。事前に調査をするのであれば、他の委員会も聞きたいことがあると思いますので横の連携をもって実施頂けましたらと思います。

板元　　：修正させてください。

井上　　：メインプログラムのタイムスケジュールを追加してください。オブザーバーも参加となっておりますので、時間が遅れることがないように配慮をお願いします。

前田(大)：１発目の例会で大変ですが、委員会のスケジュールが記載されておりません。しっかりと委員会で協議の上で上程頂きたいと思います。また、オブザーバーが参加予定とありますので対外目的を追加してください。

板元　　：対外目的の作成をしたいと思います。

藏元　　：この件に関しては、正副の方でどの様にするのか考えたいと思います。両監事からアドバイス頂いた中で、率先垂範できる人財になれる内容なのか？と井上監事からもありましたが資料の添付をお願いします。２０１９年度は委員会報告をしていくので、霧島青年会議所の情報の共有に関しては理事長挨拶のみでなくて良いと思います。あと、例会が３月１９日となっていますが、１８日に会頭公式訪問例会の予定が入ってきております。そちらにも多くの方に参加頂きたいと思っておりますので踏まえて考えて頂けましたらと思います。もう一点、なぜオブザーバー８名なのか？来て頂きどうなって欲しいのか？今のままではただ人数を集めるだけになるので、その後の仕組みまで考えてください。

板元　　：意見も踏まえ再考して参ります。

前田(大)：以上で、２０１９年度　３月例会を閉じさせて頂きます。

監事講評：常盤大和くん

常盤　　：改めましてお疲れ様でした。昨日の総会にて２０１９年度の理事が審議されたことで堂々と２０１９年度に向かって活動できると思います。理事長からもありましたが、２０１９年度１月１日全員が揃って迎えることができるかと思います。次回の理事会は開催しない方向で進んでおりますが、柔軟な動きはしていいと思います。ただ、リハーサルなど来年の動きが大変になっていくかと思います。やはり開催しておけば良かったとならないように執行部含め正副メンバーは頑張って頂けましたらと思います。本日は、顧問、本年度理事長・副理事長いない中でありましたが、全体的にちょっと締まりがないのかなと思いました。今回まで次年度段階ということで大目に見るのですが、３日前の上程を徹底すればこのようなことはないと思います。当日ＵＳＢで渡すなどあり得ないことですので、今後は、その様なものは上程しないでください。無駄です。そこは、委員長もしっかり把握したうえで作成してください。総会も終わり羽を伸ばしたいところであるとは思いますが残り２週間ほどです、しっかり引継ぎを受けて来年度に活かして頂きたいと思います。また来年頑張っていきましょう。

監事講評：井上正樹くん

井上　　：理事会に関しては、常盤監事から厳しい話もありましたので、しっかりと頭に入れて頂ければと思います。今日の中で、「一致団結する」「存在意義を示す」などありましたが、自分の解釈としては、よくある話ですがＪＣはゴミの拾い方を教えるのではなく、ごみを作らない社会を作るということがＪＣなのかなと思います。行政の人に言われたことをするのではなく、ＪＣが行政や市民や企業を繋いで新たな取り組みをしていくことでＪＣの存在意義は示せるのではないかと思います。そのためには自分たちの成長は必要であるし、地域のことなど見識を広げる必要があります。存在価値を示すということは簡単ではないが、やってみたが成長になる。その積み重ねが大きな成長・成果になると思います。出来ないではなく、どうやったら出来るか？前向きな考え方で活動することで魅力ある団体になっていき存在価値も示すことができるのではないかと思います。これから事業を組み立てるうえで、根本的な問題を解決するということを意識して頂けましたらと思います。そのためには、一委員会の担いでとしてではなく地域のリーダーとなるためには、皆で知恵を出し合って一致団結して取り組んで頂けましたらと思います。本日はお疲れ様でした。

次回開催

平成３０年１２月　１９日　　第７回次年度正副理事長会議

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　南郷　英俊　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　鈴吉　　美絵　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　重野　　隆太　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　井上　正樹　　　　　　　　　㊞